

## 令和2年度試験研究の評価について（概要）

### 1 評価対象課題

- (1) 事前評価・・・次年度実施予定の新規課題
- (2) 中間評価・・・実施中の課題
- (3) 事後評価・・・前年度の終了課題

### 2 評価体制および評価機関

#### (1) 1次評価

各試験研究機関の研究課題について所管課が作成（部内評価）した中から、重点施策に関わる課題、社会情勢等を考慮し、外部評価の必要性が高いと思われる課題を抽出し、外部評価アドバイザーの意見を聴取。

#### (2) 2次評価

外部評価アドバイザーの意見を参考に2次評価案を作成し、研究機関検討会で調整後、科学技術調整会議で最終的に決定。

- ① 研究機関検討会（令和2年11月20日書面開催）・・・2次評価案の決定
- ② 科学技術調整会議（令和3年2月12日書面開催）・・・評価決定

### 3 評価項目

#### (1) 事前評価

研究ニーズ、計画、目的の妥当性や施策目標との関連性

#### (2) 中間評価

進捗状況、研究を取り巻く内外の状況変化、成果の見通し

#### (3) 事後評価

当初計画との相違、目的の達成度、成果の活用

### 4 評価指標

事前評価、中間評価、事後評価ともA、B、C、Dの4段階評価。

### 5 令和2年度外部評価アドバイザー

所 属	役 職	氏 名
国立大学法人福島大学	教授	佐藤 理夫
公立大学法人宮城大学	教授	金内 誠
国立大学法人福島大学	教授	金子 信博
国立保健医療科学院	上席主任研究官	温泉川 肇彦
国立大学法人東京大学 環境安全本部	教授	飯本 武志
国立大学法人筑波大学 アイソトープ環境動態研究センター	センター長	恩田 裕一